

# バケット

特許申請

国際特許取得



日本の技術  
MADE IN JAPAN

開発・製造・販売

(株)古垣建設、ウエダ産業(株)

# クローラ型山積機 FU-70

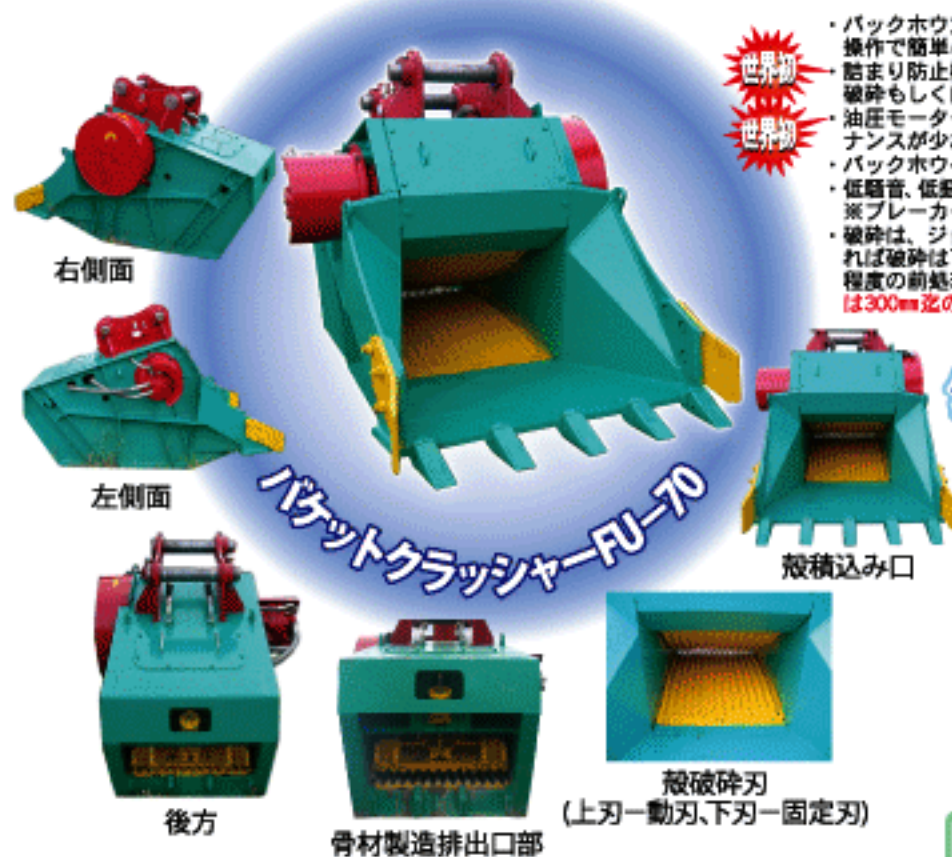
0.7m<sup>3</sup>バックホウ(官庁呼称 クローラ型山積機0.8m<sup>3</sup>)全機種対応、骨材製造アタッチメント  
**骨材製造アタッチメントをリースで取り付けるだけで骨材製造機械に早変わり**

■コンクリート塊(有筋、無筋)、岩石対応(対応強度40N/mm<sup>2</sup>程度)

鉄筋は、排出口から骨材と剥離され出てきます

■粒度調整機能付(20mm~90mmまで調整できます。6mmずつ調整できる為、規格内でRC40、RC80が製造されます。)

10段階調節



右側面

左側面

後方

骨材製造排出口部

破砕刃  
(上刃-動刃、下刃-固定刃)

世界初  
世界初

- バックホウ主要メーカー全機種に取り付けでき、操作は純正ペダル操作で簡単に破砕作業が行えます。
- 詰まり防止機能正逆回転機能付ペダルを逆に踏み込むと逆回転し、破砕もしくは、バケットを返して吐き出します。
- 油圧モーター駆動シャフト直結方式-破砕能力がアップし、メンテナンスが少なく、作業ロスが少ない。
- バックホウへの装着時間は30分で行えます。
- 低騒音、低振動(施工地点より15m地点では騒音70dB、振動65dB程度) ※ブレーカー使用の7割程度のイメージ
- 破砕は、ジョー方式の為、大塊も破砕可能(550mm×350mmの口に入れば破砕は可能)但し、作業能力が低下する為、小割350mm×350mm程度の前処理をお勧め致します。市場単価の構造物とリコワシでは300mm迄の小割費は含まれています。

集積・骨材製造・積込みが  
バックホウ1台でOK!

操作は簡単

コンクリート塊を通常とバックホウを扱う動作で行い、足下のペダルを踏むだけ!

骨材製造能力

42m<sup>2</sup>/日(8h) 数値は破砕前堆積、日当たり66m<sup>2</sup>の碎石を製造します。42×2.35/1.5破砕物の強度25N/mm<sup>2</sup>、大きさ350mm程度。コンクリート塊有筋、90度旋回作業。0~40mm骨材製造試験8,000m<sup>2</sup>実証試験平均値による  
 ※積算上、有筋、無筋、0~40mm、0~80mmの骨材製造に関わらず42m<sup>2</sup>/日の能力としています。

■ガラクジラー 機械式小割圧砕機



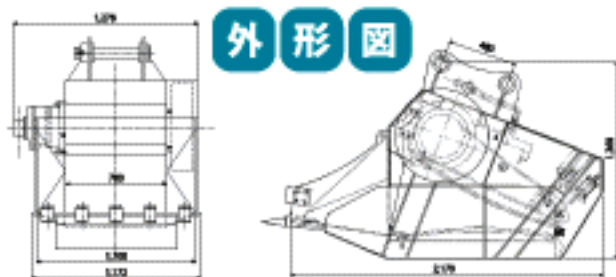
機械式なのにあり得ない破砕力!!  
小割に最適です  
0.45m<sup>3</sup>、0.7m<sup>3</sup>用あり

機械式なので動作が速く、油圧配管いらずです 開発者直伝

0~40mm製造再生骨材

0~80mm製造再生骨材

## 外形図



## 性能表

機種	FU70
適合機 (m)	0.7(油圧共用配管)
バケット容量 (m <sup>3</sup> )	0.45
投入最大寸法 W×H(cm)	550×350
骨材出来上寸法 (mm)	0~40、0~80等(10mm~120mmまで粒度調節できます)
機体重量 (kg)	2500
処理能力 (t/h)	10~20
骨材製造量 (m <sup>3</sup> /h)	6.6~13.3